

# 平成23年3月期第3四半期決算説明資料

2011年2月



ノンバンク取引減を主因に厳しい環境が続いているものの、経常利益、四半期純利益は、計画水準を確保。

- ・総利用件数は前年同期間比+4.0%と着実に増加
  - 預貯金金融機関取引・・・同+7.6%
  - ノンバンク取引……………同△18.5%
- ・ATM台数は前年同期末比+5.3%

# 損益状況(抜粋)

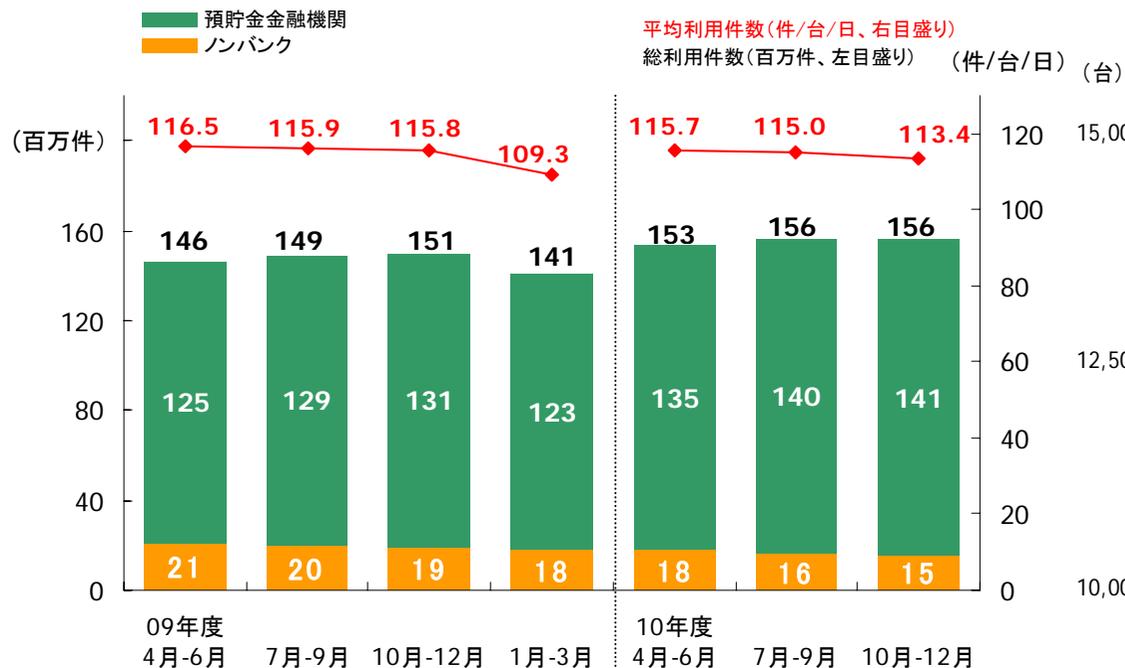
(単位:億円)

	2009年度 第3四半期 (累計)	2010年度 第3四半期 (累計)	前年同期比	2010年度 通期計画
			(%)	
経常収益	681	<b>644</b>	△ 5.4	852
うちATM受入手数料	654	<b>618</b>	△ 5.5	819
経常費用	436	<b>423</b>	△ 2.7	578
うち営業経費	343	<b>331</b>	△ 3.5	454
経常利益	245	<b>220</b>	△ 10.1	274
特別損益	△0	<b>△0</b>	—	△0
法人税等合計	99	<b>89</b>	△ 9.9	111
四半期純利益	144	<b>130</b>	△ 10.0	162
期末ATM設置台数(台)	14,339	<b>15,104</b>	+765(台)	約15,400
総利用件数(百万件)	448	<b>466</b>	+18(百万件)	617
平均利用件数(件/台/日)	116.1	<b>114.7</b>	△1.2	113.5

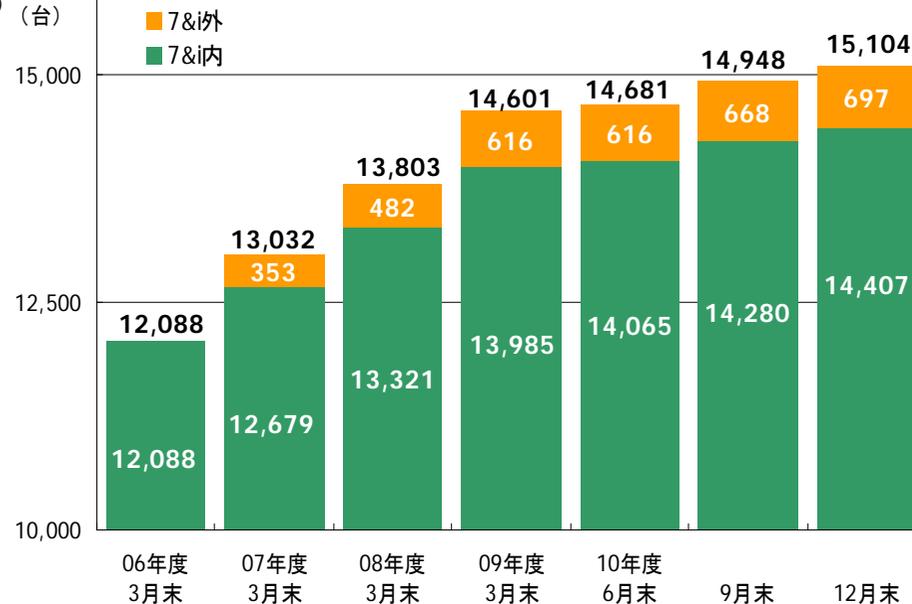
注1. 単位未満は切捨て

注2. 前年同期比の増減率は百万円単位、総利用件数の差異は千件単位で比較し、小数点第2位以下切捨て

## 利用件数の推移



## ATM台数の推移

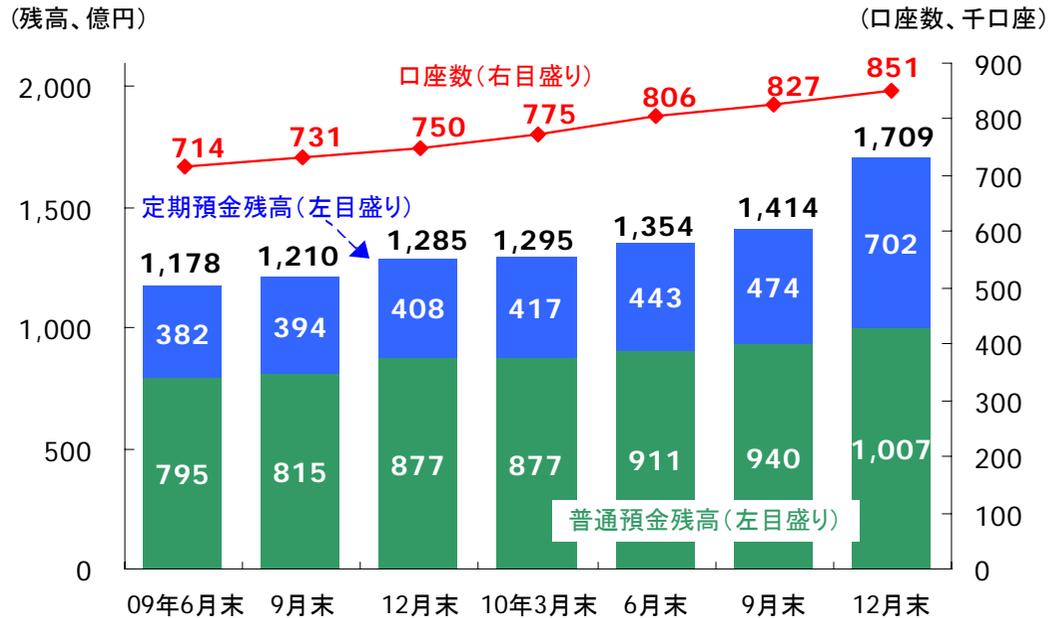


注1. 平均利用件数、総利用件数は残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を除く  
 注2. 総利用件数は単位未満切捨て、平均利用件数は小数点第2位以下切捨て

- ・設置台数の増加と預貯金融機関取引の着実な伸びにより、総利用件数は増加
- ・ノンバンク取引減少の影響により平均件数は減少

- ・セブン-イレブンの新規出店を中心に、グループ内店舗への設置が順調に増加
- ・グループ外は、商業施設等を中心に設置

## セブン銀行預金(個人)の状況



・2010年11月22日より、定期預金にキャンペーン特別金利を設定

## カードローンの状況 (2010年1月25日開始)

	2010年12月末実績
ローン契約口座数	7千口座
ローン残高	4.2億円

- ・口座の基本機能の位置付け
- ・個人ローンマーケットの動向を見ながら、慎重に展開

## ATM事業・新事業について

### ▶ 第3世代ATM導入開始 (2010年11月～)

- ・2010年度 約350台入替
- ・2011年度 約3,000台入替
- ・2015年度上期 全台入替完了予定

### ▶ 海外送金サービス開始予定 (2011年3月～)

- ・2011年3月～ インターネットでのサービス開始予定
- ・2011年夏～ ATMでサービス開始予定

### ▶ 大和証券とのATM利用提携及びATM受託開始予定 (2011年3月～)

- ・大和証券本支店120店舗にATMを約140台順次設置

## 資本政策について

### ▶ 3万株・50億円を上限に自己株式取得を実施 (期間:2010年11月～2011年2月)

- [進捗状況](2010年12月末)
- ・取得株数 15,636株
  - ・取得金額 25億円

本資料には、株式会社セブン銀行の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATM事業及び金融サービス事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。